

生命力あふれる雑木林の冬

いま、私たちの身近に、昔からの森林はほとんどなくなりました。多くは、人間が、自然の森林を利用したあとに植えたもので、マツ、スギ、ヒノキの材木用林や竹林、燃料にするためのコナラやクヌギなどを植えた雑木林がそれです。なかでも雑木林は、いまでも私たちの身边にわりと残っていて、どんな季節であっても生きもののたちの生活を観察するのに絶好の場所だということができます。

こがらしが雑木林を吹き抜けて、木の葉を落としました。ちょっとさびしい感じもしますが、冬の日がよくさしこんだ林はとてもあかるく、落ち葉を踏んで歩くのは楽しいものです。そしてこの中でも、生きのたちはそれぞれ工夫をこらして、冬を越すそっとしています。

雑木林の冬

再発見

植物が好きな方は、葉が落ちて観察しにくいなどと言わずに、木のかたち、枝の張りかた、木のはだ、落ち葉、そしてもう、春にそなえて小さく出ている冬芽などに注目してみましょう。また、葉の落ちたあとのかたちば、いろいろなものに似ていって、とても面白いものです。

虫に興味がある方なら、昆虫たちが、それぞれどんな場所で冬を越しているか、それも、成虫でかさなぎでか、幼虫でか、卵でかを、土の中、落ち葉の下、樹皮の下、枯れ草の中、木の枝などで調べましょう。そして、野鳥。北の地方からたくさんいる鳥たちが渡ってきています。繁殖を終りかえします。ツグミの仲間は地上で落ち葉の下のニンニクをさがし、ウグイスやアオシは、やぶの中でクモをさがします。……森林は、植物と動物のはたらきで、いろいろな鳥がさまざまな動作をくりかえします。ツグミの仲間は地上で落ち葉の下のニンニクをさがし、ウグイスやアオシは、やぶの中でクモをさがします。森林は、植物と動物のはたらきで、健全ないところがおこなわれています。

そこで、私たち人間に豊かな自然の恵みを与えてくれるので、さあ冬休み、スニーカーをはいて、ルーペと双眼鏡を持つ雑木林、出かけてみませんか。もちろん生物の生活をおびやかさないように注意して……。いってらっしゃい。

**法人団
日本鳥類保護連盟
サントリー株式会社**

ヒトの心に「トリー」の保護区を
サントリー株式会社がリースして制作して得て、原則として毎月第二日曜日に掲載いたします。

トリからのメッセージ⑩

●愛鳥かるた好評!! お申込みはお早目に……

●この広告は、日本正幸氏のカラーリスト。読み込んだり理解したリーフレットつき。

収録書：丈夫。読み込んだり理解したリーフレットつき。

価格：1巻1,500円送料300円計1,800円

を切手でどうぞ。セットの場合は送料600円、3巻の場合は700円となります。

プレゼントとして、相手ご住所をお書きください。あなたの名前で前方へお届けしますので、どうぞご利用ください。

宛先：〒103-91 東京都日本橋馬喰町231号 サントリー株式会社愛鳥キャンペーン係

かるた係

この売上半利益金は、日本鳥類保護連盟に寄贈されます。

